

日本光学会平成 22 年度第 1 回常任幹事会議事録

日 時： 2010 年 7 月 13 日(火) 14:30~17:00

場 所： 応用物理学会 6 階会議室

参加者： 武田幹事長 他 17 名

議 事：

1. 第 190 回幹事会議事録の確認

- ・ 1 点修正を加えて、第 190 回幹事会議事録は承認された。

2. 報告事項

2-1. 「光学」関連報告

(1) 「光学」編集報告

- ・ 40 巻の進展号には 14 の研究グループから執筆者が集まったことが報告された。
- ・ 予算執行が順調であることが報告された。

2-2. 「OPTICAL REVIEW」関連報告

(1) 「OPTICAL REVIEW」編集報告

- ・ 欠員していた編集委員を 1 人補充したことが報告された。
- ・ 投稿数は順調に推移していることが報告された。

(2) 「OPTICAL REVIEW」出版報告

- ・ OPTICAL REVIEW の英文 / 和文のチラシが少なくなっているため、200 部ずつ印刷する予定であることが報告された。
- ・ シュプリンガーからの報告についての説明がなされた。

2-3. 講演会関連報告

(1) 第 35 回光学シンポジウム (2010. 7/8-9) 結果報告

- ・ 講演件数等の詳細が報告された。
- ・ 参加者、展示業者のいずれでもない部外者が入場していたことが問題となったため、次回は展示業者用名札を着用させる方針であることが説明された。

(2) Optics & Photonics Japan 2010 (2010. 11/8-10) 進捗報告

- ・ 展示に関しては「技術セッション」と名称変更することにより、ほぼ従来通りの開催が了承されたことが報告された。
- ・ 英文ホームページを作成したことが報告され、日本光学会のホームページにもリンクをはることが担当者から説明された。Optics & Photonics Japan の英文呼称は Annual Meeting で統一することにした。
- ・ 講演チラシとポスターが完成し、これから講演プロモーションに入ることが連絡された。

(3) 第 6 回光応用新産業創出フォーラム進捗報告

- ・ 次回は 2011 年 2 月 24 日に開催されることが報告された。
- ・ 光みらい奨励金については、産学官連携委員会に代わりフォーラム実行委員会が担当して今後も継続的に活動を続けることが了承された。

(4) 第 37 回冬期講習会進捗報告

- ・ 順調に進んでいることが報告された。

(5) 光学五学会関西支部連合講演会進捗報告

- ・ 講演会開催時期、場所等の大枠が決定し、各幹事の役割分担を確認したことが説明された。
- ・ 幹事会での決定事項として、これまでの繰越金を平成 22 年度末に精算して各学会に戻すことが報告された。
- ・ 今後他学会と連合講演会等を共催する場合は、実施終了時点で残算を清算して各学会会計に戻し、繰越金等をもたないようにすることとした。

2-4. その他報告事項

(1) 協賛依頼について

- ・ 協賛承認済みが 8 件、協力承認済みが 1 件であることが報告された。

(2) 会員動静について

- ・ これまで微減傾向であったが、最近は微増傾向にあることが報告された。

(3) 収支計算書について

- ・ 特に目立った動きはなく、現時点では健全な状態であることが報告された。

(4) 日本光学会ホームページについて

- ・ アクセス数が 15% アップしたことが報告された。
- ・ 英文ホームページをアップデートしたことが報告された。

(5) 光学論文賞選考委員会報告

- ・ 選考委員会委員が決定したことが報告された。

(6) 奨励賞選考結果報告

- ・ 奨励賞候補者選考結果について、候補者が報告された。

3. 審議事項、その他

3-1. 国際協力支援金申請について

- ・ International Workshop on Holographic Memory and Display (IWHM&D 2010) に関する支援金申請が承認された。

3-2. 光みらい奨励金募集要項について

- ・ 募集要項に関して了承された。
- ・ 産学官連携委員会の活動終了に伴い、光みらい奨励金と光応用技術産業創出フォーラムの活動継続に必要な新委員会を作るための内規の変更案を準備し、それについてメール審議により幹事会承認を得ることとした。

3-3. 日本光学会出版物の著作権の応用物理学会移管について

・応用物理学会への著作権の移管について、幹事長、「光学」編集委員長、「OPTICAL REVIEW」編集長、出版委員長の連名で広報するための文案を作成し、「光学」、および光学会ホームページに速やかに掲載することとした。

4. その他

・来年度の幹事について、早い時期に推薦を行うことが説明された。

第 191 回幹事会

2010年9月24日(金)に、応用物理学会会議室(九段下)において開催されました。第1回常任幹事会議事録の確認、「光学」編集報告、「OPTICAL REVIEW」関連報告、Optics & Photonics Japan 2010 (11/8-10) 進捗報告、カラーフォーラムジャパン 2010 進捗報告、第35回光学シンポジウム(2010.7/8-9) 収支報告、第36回光学シンポジウム(2011.7) 進捗報告、第37回冬期講習会進捗報告、平成22年度名古屋講演会進捗報告、平成22年度北海道地区学術講演会進捗報告、北陸信越講演会、第6回光応用新産業創出フォーラム進捗報告がなされました。また、平成23年度予算案について、次期幹事構成案および幹事候補者について、幹事の日本光学会入会について、日本光学会の事務室の移転計画について、国際協力からの報告事項、OPJへのSPIE、OSAとの協賛について、SPIEとのMOUの更新について、OPJの英語の参加申込ページについて、ODF'10横浜の収支報告、故高野榮一様からの寄付について、審議および報告がなされました。詳しい幹事会議事録は第40巻第1号に掲載予定です。

第 251 回「光学」編集委員会

2010年9月3日(金)にアルカディア市ヶ谷において開催されました。今回は最初に第40巻第8、9号の企画決定、第40巻第10号の第二次構想案、第40巻第11、12号の第一次構想案の審議、第41巻第1、4号の号担当の決定が行われました。特に第41巻第4号は日本光学会60周年の特集としての検討が必要なが認識されました。その後、書評進捗状況についての報告、論文投稿・審査状況、各号の進捗状況、会計等の報告がなされました。書評についてはいくつか入稿されたことが報告されました。また、第40巻第4号の進展号に関しては新たな試行に対応した執筆者への依頼状を準備中であること、著作権に関しては光学会会員への周知記事について準備中であることが報告されました。

日本光学会光設計研究グループ第13回光設計賞報告

日本光学会光設計研究グループ企画の「第13回光設計賞」は、審査の結果下記の通り受賞者を決定しましたので報告いたします。

受賞者:

○光設計優秀賞

「低色収差屈折率分布型プラスチックロッドレンズの開発」

入江菊枝氏・新納 洋氏・藤原匡之氏・佐伯 敬氏・飯盛将史氏(三菱レイヨン)

○光設計奨励賞(2件)

「超広帯域・高速掃引型シングルモード・モードホップフリー波長掃引光源の開発」

中村賢一氏・森本慎太郎氏・中山貴司氏(アンリツデバイス)

「軸偏光超解像スポット生成用液晶ベクトルビーム素子の設計」

橋本信幸氏・齋藤友香氏・田辺綾乃氏・栗原 誠氏(シチズンホールディングス)、小澤祐市氏・佐藤俊一氏(東北大学)、日比輝正氏・根本知己氏(北海道大学)

表彰: 11月8日~10日に中央大学駿河台記念館にて開催されるOptics & Photonics Japan 2010にて以下のように授賞式、受賞記念講演を行う予定です。

○授賞式 11月10日(水) 14:40~15:10 A会場(285号室)

○受賞記念講演 11月10日(水) 15:20~17:50 A会場(285号室)

審査: 審査は書類による1次審査(将来性、実用性、独創性に関して採点)の後、9名の審査委員に集まっていたいただき、1次審査の結果および各委員のコメントを考慮しつつ話し合いにより受賞者を決定しました。応募件数は6件でした。

問合せ先: サイバネットシステム(株)応用システム事業部オプティカルソリューション部 秋山健志

電話 03-5297-3424 E-mail: odp13@opticsdesign.gr.jp

URL: <http://www.opticsdesign.gr.jp/hikari.html>

第 118 回微小光学研究会「最先端光材料と微小光学」

日時: 2010年12月3日(金) 10:20~17:10

場所: 東北大学電気通信研究所大会議室(片平キャンパス)(仙台市青葉区片平2-1-1) <http://www.riec.tohoku.ac.jp/>

主催: 日本光学会微小光学研究グループ

交通：JR仙台駅徒歩20分または地下鉄五橋駅下車徒歩8分

プログラム：「銀微粒子二次元結晶における協同的局在プラズモン共鳴現象」玉田 薫（東北大），岡本晃一（京都大），「高屈折率および低屈折率ハイブリッド材料の開発と透明フィルム応用」森下丈弘・姜 義哲（日油），阿尻雅文（東北大），「高屈折率光硬化ナノコンジット材料の開発」上野信彦（三菱化学），「液晶場を利用した高分子ナノ構造制御とその光学材料への展開」渡辺順次（東工大），「分子機械の回転運動の光 ON-OFF スイッチ」玉置信之（北海道大），「有機ELによる車載用曲面ディスプレイの実現に向けて」坂口幸一・明渡邦夫・佐藤敏一・野田浩司・土森正昭（豊田中央研究所），「MOC '10 報告」後藤顕也（東海大），「環境半導体光デバイス—豊富で安全な資源を用いた光デバイス用半導体の開発」末益 崇（筑波大），「KTN を用いた高速光偏向器とその応用」八木生剛（NTT），佐々木雄三（NTT アドバンステクノロジー），今井欽之・宮津 純・豊田誠治・笹浦正弘（NTT），「ガラスの結晶化と非線形フォトニクス応用」高橋儀宏・井原梨恵・藤原 巧（東北大）

参加費：一般4,000円，学生1,000円（資料代含む，当日ご持参ください）

参加申込：不要（直接会場にお越しください）

問合せ先：東北大学多元物質科学研究所 杉原興浩

電話 022-217-5672 Fax 022-217-5671

E-mail: sugihara@tagen.tohoku.ac.jp URL: <http://www.comemoc.com/>

日本分光学会・ナノ分光部会・生細胞分光部会シンポジウム「分光が拓く新しいイメージング・イメージングが拓く新しい分光学」

日時：2010年12月10日（金）10:00~20:00

場所：東京大学理学部一号館小柴ホール（東京都文京区本郷7-3-1）

主催：日本分光学会

協賛：日本光学会

参加費：会員2,000円，一般3,000円

問合せ先：大阪大学大学院工学研究科精密科学・応用物理学専攻 藤田克昌

電話 06-6879-7847 Fax 06-6879-7330

E-mail: fujita@ap.eng.osaka-u.ac.jp

URL: <http://sites.google.com/site/nanospectroscopy/Home>

「撮像素子の微細化技術の現状と将来展望」公開セミナー

日時：2010年12月13日（月）10:00~16:40

場所：機械振興会館地下3階2号室（東京都港区芝公園3-5-8）

主催：（社）日本オプトメカトロニクス協会

協賛：日本光学会

参加費：1名につき，一般25,200円，正会員14,700円，賛助会員18,900円，協賛22,050円。テキスト・消費税を含む。

定員：40名

申込期限：2010年12月6日（月）

問合せ先：（社）日本オプトメカトロニクス協会

電話 03-3435-9321 Fax 03-3435-9567

E-mail: info@joem.or.jp URL: <http://www.joem.or.jp>

筑波大学大学院数理物質科学研究科教員公募

公募人員：准教授または助教1名

所属：数理物質科学研究科電子・物理工学専攻（物理工学系）

専門分野：工学および理学分野で，生体医工学等に関する研究を行う。光・電磁波・量子ビームを用いたバイオメディカル計測，環境計測，画像診断などの研究テーマに積極的に取り組む意欲ある者。（本研究科は男女共同参画，国際化拠点整備事業を積極的に推進しており，諸事情を十分考慮して選考を行う）

応募資格：理工学群応用理工学類において基礎科目を担当でき，博士号取得，あるいは着任までに取得見込みの者。

着任時期：2011年4月1日

任期：准教授は任期なし，助教は任期あり（関連分野の教授と協力して研究を進める。テニュアトラック制で5年以内に審査，http://www.tsukuba.ac.jp/public/ho_kisoku/s-02/2007hkt08.pdfを参照。）

提出書類：①履歴書，②研究業績リスト，③主要論文5編の別刷，④今までの研究概要（2000字以内），⑤今後の研究計画（1000字以内），⑥教育に対する抱負（1000字以内），⑦意見を伺える方2名の氏名と連絡先。

応募締切：2011年1月15日（必着）

書類送付先・問合せ先：筑波大学大学院数理物質科学研究科電子・物理工学専攻長 秋本克洋

〒305-8573 つくば市天王台1-1-1

E-mail: akimoto@esys.tsukuba.ac.jp

日本光学会 *news* の掲載申込先：

〒305-8568 つくば市梅園 1-1-1 中央第2 (独)産業技術総合研究所 光技術研究部門

森 雅彦 電話 029-861-5623 Fax 029-861-5627 E-mail: m.mori@aist.go.jp

なお、掲載申込は原則として発行日(10日)から2か月前の15日まで、開催日が1~10日の場合は、開催日の3か月前の15日までをお願いします。

掲載にあたっては、「日本光学会 *news*」および「光学関連会合予定」の掲載基準 (<http://annex.jsap.or.jp/OSJ/kogaku/news-keisai.html>) をご確認ください。

日本光学会平成22年度幹事(*常任幹事)

幹事長：	武田 光夫* (電通大)	
副幹事長：	加藤 純一* (理研)	谷田 純* (阪大)
前幹事長：	谷田貝豊彦 (宇都宮大)	
庶務幹事：	佐々木雄三* (NTTアドバンステクノロジー)	橋本 信幸* (シチズンホールディングス)
	向井 香織* (ニコン)	森 雅彦* (産総研)
	上窪 淳二* (HOYA)	駒井 友紀* (日本女子大)
	松田 二郎* (富士ゼロックス)	宮武 直樹* (リコー)
『光学』編集幹事：	相津 佳永* (室蘭工大)	鈴木 裕之 (東工大)
『Optical Review』編集・出版幹事：	植田 憲一* (電通大)	中楯 末三* (東京工芸大)
国際協力幹事：	西村 吾朗 (北大)	成瀬 誠 (情報通信研究機構)
産学協力幹事：	石樽 崇明 (慶應義塾大)	長嶋 千恵 (豊田中研)
将来問題担当幹事：	佐藤 学 (山形大)	駒井 友紀 (日本女子大)
電子化担当幹事：	松坂 慶二 (コニカミノルタオプト)	田中 哲 (防衛大)
事業・企画担当幹事：	岡野 英明 (東芝)	杉浦 忠男 (奈良先端大)
	忠永 修 (NTT)	辻 俊彦 (キヤノン)
	豊田 光紀 (東北大)	庭山 雅嗣 (静岡大)
	南 功治 (シャープ)	山本 裕紹 (徳島大)
	湯浅 友典 (室蘭工大)	吉澤 達也 (金沢工大)
	栗辻 安浩 (京都工芸繊維大)	大平 泰生 (新潟大)
	岸本 康 (凸版印刷)	小灘 毅 (オリンパス)
	小西 直樹 (九州工大)	式井 慎一 (パナソニック)
	中嶋 芳雄 (富山大)	中野 貴敬 (三菱電機)
	日坂 真樹 (大阪電通大)	尾藤 洋一 (産総研)